

学校におけるマスク着用について

日頃より、新型コロナウイルス感染拡大防止について、ご協力を頂きありがとうございます。この度、政府における「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更され、それに伴い文部科学省より「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」が示されました。また、小林市教育委員会からも「学校におけるマスクの着用について」が示されましたので、三松小学校としての考え方を下記のようにいたしますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 具体的な活動場面ごとのマスク着用について

(1) 各教科等

- 屋内での学習活動においては、児童同士の身体的距離がとれないこと、及び発表や対話などの活動を行うことから、引き続きマスクを着用する。
- 体育の授業では、屋内・屋外に関わらず、マスクを外す。
 - ・ 体育館で行う際には、学級ごとの授業を基本とし、窓を開け、4台の扇風機を回して換気を行う。
 - ・ 間隔を十分確保するなどの対策を講じる。
 - ・ 十分な身体的距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合には、マスクを着用させる。

(2) 給食等の食事をとる場面

- 黙食を継続する。食事後の歓談時には必ずマスクを着用する。

(3) 清掃活動

- 無言清掃を徹底した上で、屋外での清掃についてはマスクを外して行う。

(4) 登下校

- 熱中症対策を優先し、気温が高い時等には、距離を確保した上でマスクを外すことを推奨する。
- 自己判断がしづらい低学年児童には、積極的にマスクを外すよう声かけを行う。
- 暑さの厳しい時期には、保冷剤の持参も許可する。

(5) 行事等

- 感染防止に配慮して実施。参加者へは、マスク着用を含む咳エチケットを推奨する。

★ ただし、上記については、今後の感染状況に応じて、変更の場合もあります。

2 ご家庭へのお願い（熱中症予防の観点から）

- こまめな水分補給を行うため、毎日水筒を持たせてください。
- 登下校において、日差しが強い際には日よけに傘を使用することも有効です。
- 体温測定は、新型コロナウイルス感染対策だけでなく、熱中症を予防する上でも有効となります。毎朝欠かさず実施し、発熱等の風邪症状のある場合には、無理をせず自宅で静養させください。

【別紙】

学校におけるマスク着用について（文科省「衛生管理マニュアル」より）

令和4年5月30日
小林市教育委員会

1 マスクの着用について

学校教育活動において、児童生徒等及び教職員は、身体的距離が十分とれないときはマスクを着用すべきだが、教育活動の態様や児童生徒等の様子などを踏まえ、以下のとおり臨機応変に対応する。

- 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ない。
- 気温・湿度や暑さ指数が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、マスクを外すこと。
 - ※ 熱中症への対応を優先すること。
 - ※ 児童生徒本人が暑さで息苦しい場合はマスクを外すなど、自身の判断で対応できるよう指導すること。
 - ※ 自己判断しづらい小学生等は積極的な声かけなど指導を行うこと。
- 体育の授業においては、マスクの着用は必要ない。
 - ※ 間隔を十分確保するなどの対策は必要である。
 - ※ 十分な距離がとれない状況で、十分な呼吸ができなくなるリスクや熱中症になるリスクがない場合には、マスクを着用すること。
 - ※ 緊急事態宣言（レベル3）地域では、児童生徒が運動を行っていないときは、可能な限りマスクを着用する。

2 具体的な活動場面ごとのマスク着用について

(1) 各教科等

- ・ 合唱では原則、マスクを着用する。
 - ※ マスク着用でも間隔をできるだけ2m空ける。

(2) 入学式等の儀式的行事

- ・ 参加者へのマスク着用を含む咳エチケットを推奨する。

(3) 運動部活動

- ・ 体育の授業における取扱いに準じる。

(4) 給食等の食事をする場面

- ・ 食事後の歓談時は必ずマスクを着用する。

(5) 清掃活動

- ・ 換気の良い状況でマスクをした上で行う。

(6) 登下校

- ・ 熱中症対策のため、気温が高い時等に屋外で距離を確保できる場合は、マスクを外す。
 - ※ 自己判断しづらい小学生等は積極的な声かけなど指導を行うこと。
- ・ 公共交通機関を利用する場合は、マスクを着用する。